

横須賀市自然・人文博物館付属

馬堀自然教育園／天神島臨海自然教育園・天神島ビジターセンター

しぜんきょういくな

自然教育園だより

Vol.5 No.3

(2012年秋冬号)

2012年12月21日発行

横須賀市自然・人文博物館

046-824-3688

自然教育園の見どころを「天神島の自然誌」「馬堀の自然誌」として連載します！

天神島臨海自然教育園の自然誌

③ クロサギ

天神島臨海自然教育園の磯ではクロサギの姿をよく見かけます。クロサギは本州からニュージーランドにかけての熱帯～温帯域に分布する中型のサギ類で、神奈川県レッドデータでは「繁殖期・絶滅危惧Ⅱ類」に指定されている希少な鳥です。最近まで神奈川県内では三浦市の城ヶ島と真鶴町の真鶴半島でのみ繁殖することが知られていましたが、2002年に天神島臨海自然教育園の保護水域内にある笠島での繁殖が確認され、それ以降は毎年笠島で繁殖するようになってきました。笠島へは一般の上陸が禁止されていて、安心して子育てができることがクロサギの繁殖につながっていると考えられます。

天神島臨海自然教育園のクロサギは名の通り、くちばしと足を除き黒い羽におおわれた「黒色型」ですが、南西諸島では体の白い「白色型」の個体が多く見られます。一見すると全く別の種類のような白と黒のクロサギですが、しばしば両型がつかいとなることから同じ種類とわ



天神島のクロサギ



白色型のクロサギ

かります。もちろん体が白くてもクロサギという名に変わりはありません。

魚類にもクロサギと呼ばれる種類があります。この魚も天神島臨海自然教育園の周辺の浅い海で多く見られ、時には鳥のクロサギの餌になっています。同じ名でありながら、食べる側と食べられる側に分かれるとは、なんとも皮肉な組み合わせです。



魚類のクロサギ

(萩原 記)

▶ 自然教育園での出来事 (2012年6月～2012年10月) ◀

馬堀自然教育園

6月 1日 アカスジキンカメムシの成虫を見た (c)。
3日 モンシロチョウが飛んでいた (a)。

5日 マテバシイ、ネズミモチの花が咲いていた。ムクドリがナシアシブトハバチの幼虫をついばんでいた (a)。

7日 カブトムシの蛹を確認 (b)。

9日 朝、雨の中でホトトギスが鳴いていた。葉の裏にとまっていたゲンジボタル1匹を確認 (c)。

10日 キアゲハ、アサヒナカワトンボを確認 (a,b)。ヒバカリがいた (b)。

14日 アカメガシワが満開。ミツバ、ヤブレガサが咲き始めた。クワの葉にクワゴの幼虫が2匹いた (a)。ナナフシモドキの中齢幼虫が脱皮をしていた (a)。シロジマエダシャクがいた (a,c)。オオシオカラトンボがペアで飛んでいた (a)。ハクセキレイ、スズメ、ムクドリ、トビ、シジュウカラ、メジロを見た。コゲラ、ウグイス、ヒヨドリ、ハシボソガラスを聞いた。



脱皮中のナナフシモドキ (6/14)

19日 ヤマユリが咲いた (a)。

20日 ムラサキニガナ、ムラサキシキブが咲いていた。

23日 コクランが咲いた。

24日 側溝の泥さらいでオニヤンマのヤゴとサワガニを確認 (c)。ヤブキリが鳴いていた。

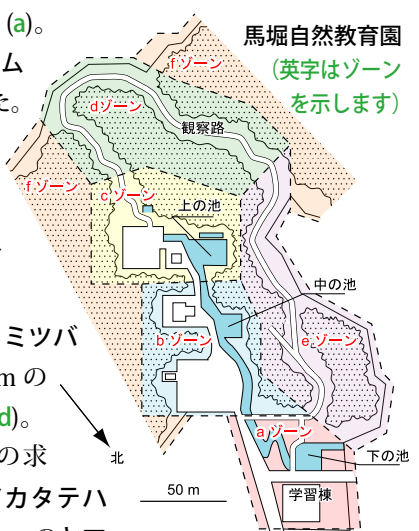
27日 ミズヒキ、ウマノミツバが咲いた。体長約20cmのヒバカリの幼体を見た (d)。

28日 アカハライモリの求愛・抱接を確認 (c)。アカタテハを確認 (c)。体長約1.5cmのヤマアカガエルの幼体を見た (e)。

7月 3日 ツククサが咲いた。ベニシジミがいた (a)。4日 アオスジアゲハが吸水していた (c)。

7日 ニイニイゼミの声を確認。

8日 ヤブコウジ、センリョウ、



ヤマユリ (6/19)

ハンゲショウが咲いていた。

12日 ハダカホオズキが咲いていた。タブノキの実が黒紫色に熟して落ちていた。

14日 トウネズミモチ、オニドコロ、ジャノヒゲが咲いた。ムクドリの群れが飛来した(a)。

18日 クロアゲハ、ナガサキアゲハ、アオスジアゲハ、モンキアゲハ、ジャコウアゲハ、モン



コガタコガネグモ(10/7)

シロチョウ、コジャノメを確認。ウグイスとコゲラがよく鳴いていた(e)。ヤブヤンマ、ヤマトタムシを見た。

22日 夕方、ヒグラシが鳴いた。

26日 セリ、マンリョウが咲いた。

31日 ミンミンゼミが鳴いていた。アブラゼミ、アオバハゴロモを見た(a)。メジロ、ヒヨドリ、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラスを見た。ウグイス、トビ、キジバトを聞いた。

8月 1日 アオダイショウの幼体がいいた(a)。オニヤンマが2匹飛んでいた(c)。アケビコノハがいいた(d)。

4日 ヤブヤンマがいいた。ニホントカゲがいいた(a)。

8日 ツクツクボウシを見た(d)。ママコノシリヌグイが咲いた(a)。

15日 樹液にキタテハ、カブトムシ、カナブンがきていた(e)。ルリタテハ、モンキアゲハ、クロアゲハ、アオスジアゲハ、ジャコウアゲハ、アサギマダラが飛んでいた。ヤブランが咲いていた。トゲナナフシとタンザワフキバッタを見た(a)。

21日 ハルノノゲシ、メマツヨイグサが咲いていた。イヌホオズキの葉をニジュウヤホシテントウが食べていた。ヒバカリの幼体がいいた(a)。

22日 クマゼミの声を聞いた。

23日 ミンミンゼミ、アブラゼミ、ヒグラシ、ツクツクボウシの鳴き声を聞いた。

24日 ハクセキレイがアオバハゴロモを追いかけていた。

29日 オオヒラタシデムシがいいた(a)。イヌビワの実にクロカナブンがいいた(a)。ヒナカマキリがいいた(e)。

31日 あちこちでヤマアカガエルの若い個体が見られた。

9月 5日 カラスアゲハがいいた(c)。キタテハがイヌビワの実を吸っていた。

6日 コクワガタのオスがいた(a)。ショウリョウバッタ、ジャコウアゲハ、キアゲハを見た(a)。サトキマダラヒカゲが多くなった。クサギ、キツネノマゴ、ヤブランが咲いていた。



ヒナツチガキ(9/15)

8日 ウラギンシジミがいいた(a)。

9日 アマチャヅルが花と実をつけた。ハシカグサが咲いた(a)。オオハナワラビの葉が出た。マテバシイの実が落ち始めた。

12日 カネタタキがいいた(a)。

15日 ガンクビソウ、チヂミザサが咲いていた。

20日 アシタバとヌスビトハギが咲いていた。ヒナツチガキが出ていた(b)。ハラビロカマキリがいいた。シジュウカラ、トビ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ハシボソガラスを見た。コゲラ、ハシブトガラスを聞いた。

21日 ホタルガを見た(d)。

26日 サネカズラが咲いていた。

27日 イチモンジセリを見た(a)。

28日 ヤマガラが水浴びをしていた(a)。

30日 アキアカネが数多く見られた(a)。

10月 4日 タラノキ、ゲンノショウコが咲いていた。ノウタケが

出ていた(a)。タマゴタケとヒラタケが出ていた(d)。ハシボソガラスがカキの実をつついて食べていた(a)。

7日 コガタコガネグモが巣を張っていた(c)。

11日 ヒヨドリの群れが次々と水浴びをしていた(a)。アオサギが餌を探していた(a)。ヤブマメが咲いていた。

16日 大きく成長したジョロウグモが見られるようになった。オギが咲いていた。カラスウリが赤く熟していた。

19日 コゲラの鳴き声とドラミングが激しく聞こえた。ムラサキシキブの実が色づいた。

20日 シロダモの実が赤くなっていた。

25日 ヒイラギモクセイが咲いていた。コサメビタキがいいた(a)。カントウカンアオイが咲いていた。



ヒイラギモクセイ(10/25)

31日 クロヤツシロランの果実が出ていた(b,d)。スタジイのどんぐりがたくさん落ちていた。センリョウやトベラの実が熟していた。ツワブキの花が咲いていた。

天神島臨海自然教育園

6月 2日 笠島で巣に出入りするクロサギを見た。

3日 タツナミガイが多数見られた。アオウミウシが多く見られたほか、コノハミドリガイ、シロウミウシ、クモガタウミウシ、サラサウミウシ、ジボガウミウシ、クロシタナシウミウシ、ヤマトウミウシ、キヌハダウミウシ、オトメウミウシ、アメフラシを確認した(b)。

9日 カルガモが2羽水たまりで水浴びしていた(d)。

10日 笠島の岩場にトビ幼鳥1羽とクロサギ幼鳥1羽を確認した。

15日 クサフグが約30匹いた(c)。

16日 イソガニ、ヒライソガニが抱卵していた(b)。ハマウドの葉にナミテントウがいいた(e)。

17日 ケシウミアメンボがいいた(b)。

21日 5,000羽以上のオオミズナギドリが南へ飛んでいった。19日の ナミテントウ(6/16)

台風でタツナミガイ、トゲモミジガイ、ベニボヤとアラメ、カジメが多数打ち上がっていた(a)。イソアワモチが多数集まっていた。クモガタウミウシ、レイシガイが産卵していた。サメジマオトメウミウシ、ジボガウミウシが見られた(b)。スカシユリが開花していた(c)。

22日 ハシボソミズナギドリが沿岸近くを飛んでいた。

28日 タカノハダイ、コブヨコバサミが見られた(c)。



29日 カワセミが岩場を飛んでいた。砂浜にハクセキレイ、カワラヒワの幼鳥がいた (a)。アオスジアゲハ、キアゲハ、ルリタテハを見た。ウスバキトンボの群れを見た。アジアイトトンボがいた (b)。ハマオモトが開花した (b)。

30日 ハシボソガラスの幼鳥を見た (a)。ニザダイの幼魚、交尾中のケシウミアメンボを見た (b)。ハマナデシコが咲いた (c)。台風4号で波をかぶった影響で、ハマボウ、ハマナデシコ、スカシユリ、ハマカンゾウなど夏の花が去年に比べ大幅に少なかった。

7月 5日 スズメがアオバハゴロモの幼虫を食べていた (d)。アラレタマキビ、イボタマキビ、スベスベオウギガニ、トガリオウギガニが見られた (b)。



ハマナデシコ (7/28)

8日 キアシシギを4羽見た (b)。イソヒヨドリの幼鳥を見た (a)。12日 クロサギが3羽の幼鳥に給餌していた。14日 イソシギ4羽を見た (b)。ヒョウタンゴミムシを見た (a)。19日 オヤビッチャを見た。アオウミウシ、リュウモンイロウミウシ、ムカデミノウミウシを見た (b)。

20日 甲幅約10cmのイシガニがいた (c)。22日 マダコや体長20cm以上あるカワハギがいた (b)。27日 ガビチョウを聞いたほか、ゴイサギの若鳥を確認した (e)。波打ち際一面にアナアオサが打ち上がった (a)。28日 ミンミンゼミを聞いた (e)。ハマカンゾウが咲いた (b)。

8月 3日 笠島でチュウシャクシギ4羽とキアシシギ2羽を見た。ハグロトンボがいた (e)。シマスズメダイを見た (b)。

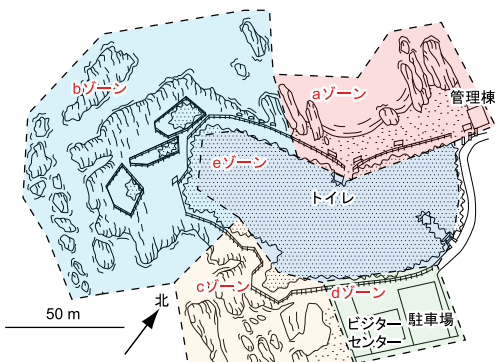
10日 チュウシャクシギ1羽、キアシシギ7羽、キョウジョシギ2羽が見られた (b)。トビの幼鳥が打ち上がったアイゴを食べていた (c)。ツバメの幼鳥が5羽電線にとまっていた。ツクツクボウシを聞いた。ヨツスジトラカミキリがいた (e)。11日 沖合でオオミズナギドリが1,000羽以上群れていた。カワセミとイソヒヨドリのメスを見た。漂着した発泡スチロールにオキナゲレガニが隠れていた (a)。

16日 カナヘビの幼体を見た。トゲチョウチョウウオの幼魚、アカオビシマハゼ、多数のオヤビッチャの幼魚を見た (c)。ムカデミノウミウシ、ジボガウミウシを見た (b)。

18日 イチモンズズメダイ2個体とネズズメダイ1個体を確認した (c)。

19日 カワラヒワの幼鳥10羽を確認した。ハクセスズメダイ、セダカ

天神島臨海自然教育園およびビジターセンター (英字はゾーンを示します)



ハクセスズメダイ (8/19)



ソリハシシギ (8/25)

24日 天神島初記録のソリハシシギを確認した (b)。チュウシャクシギ、キョウジョシギ、キアシシギ、トウネンのほか、ガビチョウを見た (c)。30日 アイゴの幼魚100個体ほどの群れを見た。ギンユゴイの幼魚の群れ、ソラスズメダイ、テンジクスズメダイ、イソズメダイの幼魚、コモンウミウシを見た (b)。

9月 1日 ホオジロ、セッカを確認した (b)。ウスバキトンボの大群を見た。

2日 ミサゴを確認した (b)。

6日 漂着した海藻にイボシヨウジンガニがいた (a)。センニンソウが満開だった (e)。

7日 トウネン、キアシシギ、キョウジョシギ、イソシギ、カワセミを見た (b)。

8日 アオリイカの幼体3匹を見た (c)。

13日 イソヒヨドリのオス2羽が梢で鳴き交わっていた (e)。

14日 フウライチョウチョウウオの幼魚がいた。クロシタナシウミウシの卵を見た (b)。ミズクラゲが大量に打ち上がった (c)。15日 磯でチョウチョウウオ、ソラスズメダイ、イチモンズズメダイなどの幼魚を見た。チャガラ、ミナミハタンポ、クロホシフエダイの群れ、コモンウミウシ、ジボガウミウシ、ムカデミノウミウシなども見た (b)。

20日 天神島では6年ぶりとなるヤマガラ2羽を確認した (e)。21日 岩場でタイワンリスを見た。イソシギが10羽以上飛んでいた。磯の波打ち際に30cm以上のクロダイを見た。クモハゼ、イダテンカジカ、ナベカなども見られた (b)。

23日 コサギがアイゴの幼魚を食べていた (c)。

27日 ヒヨドリを確認した (e)。ギンヤンマ、アオスジアゲハ、キタテハ、ウラギンシジミを見た。クロスジアメフラシを見た (b)。ハチジョウナ、ヒガンバナが咲いていた (c)。

28日 ハヤブサの若い個体が飛んでいた。

29日 キアシシギとキョウジョシギを見た (b)。多数の小さなイソアワモチを見た (c)。



アオリイカの幼体 (9/8)



クロスジアメフラシ (9/13)

30日 ミサゴが笠島にいた。海上を飛ぶツバメ3羽を見た。アケビコノハの幼虫を見た。

10月 4日 オオミズナギドリの群れを見た。5日 アオバトを聞いた (e)。アマツバメ3羽や50羽以上のヒヨドリが渡っていった。

6日 サシバ6羽が上空を旋回していた。ハヤブサが飛んでいた。キセキレイを見た (b)。天神島では初めてスナガニの仲間の巣穴を確認した (a)。

11日 ハマオモトヨトウがジョウロウグモの巣に捕えられていた(e)。

18日 トベラ、シロダモ、ツルオオバマサキに実がなった(a,e)。

19日 冠雪した富士山の姿がくっきり見られた。

20日 北へ飛ぶ20羽ほどのヒドリガモの群れが見られた。オオバグミの花が咲いていた(a,b,e)。

25日 3羽のヒメアマツバメが飛んでいた。穴に隠れたアイゴ幼魚がイソガニに捕食されていた(b)。



ウラナミシジミ (10/26)

27日 ジョウビタキを確認した(d)。ウラナミシジミがハマエンドウに産卵していた(c)。オオキンカメムシがハラビロカマキリに捕食されていた(d)。

28日 カルガモ5羽とコガモ2羽の混群を見た。アオジを確認した(e)。コシアカツバメが飛んでいた。

本館特別展示「よこすか大地と生命の歴史」

特別展示「よこすか大地と生命の歴史」が2013年1月20日まで開催中です。この特別展示では、化石や岩石の展示と最新の研究成果に基づいて、三浦半島の壮大な大地の生い立ちを紹介しています。主な見どころは、①最新の三浦半島の衛星写真(3.6m×2.9m)、②当館がこれまでに採集した三浦半島の化石・岩石の標本展示、③貝化石がびっしり入った津久井化石床のはぎ取り標本(高さ2.6m)、④横須



① 衛星写真



② 化石・岩石



③ はぎ取り標本



④ 化石レプリカ

賀で見つかったナウマンゾウの化石レプリカなどです。三浦半島の大地は深海でつくられ、プレートのはたらきに影響を受けてきたことなど、三浦半島の地球科学について理解を深められる展示となっています。ぜひご見学ください。

自然教育園イベント紹介

※申込方法を必ず博物館HPや年間行事(パンフレット)でご確認ください。

一天神島めぐり 1. 海鳥

越冬のため三浦半島の海に渡ってくる北方から冬の間海鳥たちを観察します。2013年3/24(日)9:30-11:30。対象は一般20名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料1人50円。締

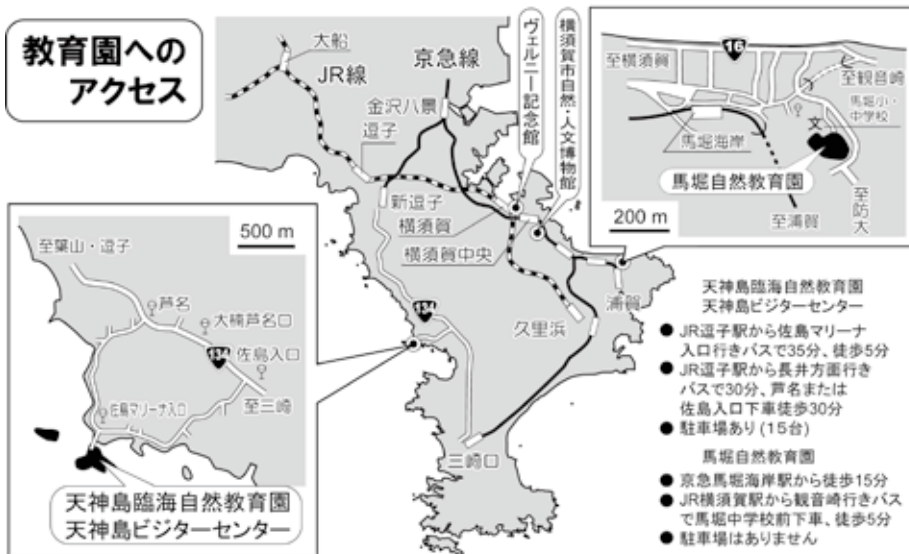
め切り:3/9(土)。

一天神島ガイドツアー

毎月第4日曜日に、天神島の季節に応じた見どころを紹介いたします。4~9月:10:00-11:00、10月~3月:13:00-14:00。開催当日教育園入口にお集まりください。申込不要、参加無料。

横須賀市自然・人文博物館 附属自然教育園

教育園へのアクセス



馬堀自然教育園

〒239-0802 横須賀市馬堀町4-10-3
TEL 046-841-5727 (FAX 共用)

天神島臨海自然教育園

天神島ビジターセンター

〒240-0103 横須賀市佐島3-7-3
TEL 046-856-0717 (FAX 共用)

博物館本館

〒238-0016 横須賀市深田台95
TEL 046-824-3688
FAX 046-824-3658

休館・休園日 月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始

開館・開園時間 9:00-17:00

(自然教育園 10~3月は16:30まで)

博物館ホームページでも、「自然教育園だより」をご覧いただけます!

(<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/>)